

## JCMA 報告

## 一般社団法人日本建設機械施工協会 令和5年新年賀詞交歓会報告

本協会の新年賀詞交歓会は、令和5年1月5日（木）午後4時から機械振興会館地下2階ホールにおいて開催された。

3年ぶりの開催となった今回は、コロナ感染防止の観点から、協会役員や国会議員、官公庁関係者など出席者を限定した開催となった。

冒頭、金井道夫会長が挨拶し、「本日3年ぶりに新年賀詞交歓会を開催できたことは、ひとえに皆様のご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げたい。建設機械の分野でも膨大なデータと向き合わなければならない時代となったが、未だにデータが誰でもどこでも利用できるとは言えない状況にあることから、データの時代に対応した官と民が連携した取組を進めて参りたい。また、メタバースなど新たな技術の活用については、慎重さが求められる一方で迅速な取組も重要であることから、今年も引き続き皆様のご指導を賜りたい」と述べた。



写真一 金井道夫会長

次に、佐藤信秋参議院議員が挨拶し、「インフラDXはもちろんのこと、国土強靱化や建設現場の働き方改革、生産性の向上など、これら重要な課題を推進するためには協会をはじめご出席の皆様の活躍が不可欠である」と述べた。

続いて、足立敏之参議院議員が挨拶し、「最近の建設機械の分野の進歩はめざましく、ダムの無人化施工に留まらずトンネルや橋梁など様々な現場で技術革新が進んでいる。協会をはじめ皆様の奮闘により、日本の技術が従来の殻を破って更に世界の中で優れたもの



写真二 佐藤信秋参議院議員



写真三 足立敏之参議院議員

となっていくよう期待している」と述べた。

最後に、国土交通省吉岡幹夫技監が挨拶し、「2016年に始まったi-Constructionは、建設の分野のみならず管理など範囲をさらに広げてインフラDXとして進めているが、その中核を成すのはICT施工である。組織要求で官房にイノベーション参事官ができることになり、組織体制も強化してしっかりとICT施工などを進めて参りたい。本日までご参集の皆様にも一層のご協力をお願いする」と述べた。

また、司会を務める真下英人業務執行理事より、出席した官公庁幹部を紹介した。

・国土交通省（紹介順、敬称省略）

水管理・国土保全局長 岡村次郎、道路局長 丹羽克彦、山田邦博（元顧問）、大臣官房技術審議官 佐藤寿延、水管理・国土保全局砂防部長 三上幸三、水管理・国土保全局水資源部長 朝堀泰明、関東地方整備局長 廣瀬昌由



写真一4 吉岡幹夫技監

大臣官房技術調査課長 見坂茂範, 総合政策局公共事業企画調整課長 岩崎福久, 水管理・国土保全局河川計画課長 森本輝, 同局河川環境課長 豊口佳之, 同局防災課長 中込淳, 同局保全課長 城ヶ崎正人, 道路局国道・技術課長 長谷川朋弘, 同局環境安全・防災課長 高松諭

次に, 山本明副会長 (コベルコ建機(株)代表取締役社長) の発声で, 一年の健康と発展を祈念して乾杯した。



写真一7 山本明副会長 (コベルコ建機(株)代表取締役社長)

最後に, 池上徹副会長 (株安藤・間取締役副社長) が中締め挨拶を行い, 令和5年新年賀詞交歓会は午後5時に終了した。



写真一5 岡村次郎水管理・国土保全局長



写真一8 池上徹副会長 (株安藤・間取締役副社長)



写真一6 丹羽克彦道路局長